

敦賀市長

淵上隆信様

# 提案書

北陸新幹線、敦賀駅デザイン案

鉄道・運輸機構 大阪支社

## 北陸新幹線、敦賀駅のデザインコンセプトに基づく

### 駅舎デザインの提案

北陸新幹線（金沢・敦賀間）の建設につきましては、平素より特段のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

鉄道・運輸機構は、平成34年度末の完成に向け、鋭意工事を進めておりますが、敦賀市民をはじめ多くの皆様の期待を受け、一日も早い完成を目指しているところでございます。

さて、敦賀駅の駅舎デザインにつきましては、敦賀市長より平成29年1月17日に「北陸新幹線敦賀駅舎のデザインに関する要望書」によりご要望をいただいているところでありますが、このたびその成果として、デザイン案3案をご提案できる運びとなりましたので、よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

平成29年11月9日

独立行政法人

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

大阪支社長

蓼 沼 慶 正

## 駅舎デザインコンセプト

「空に浮かぶ ～自然に囲まれ、港を望む駅～」

## 敦賀駅デザイン案 【A案】

「未来航路へ出航する港街の駅」



※デザインはイメージです

- ・敦賀港に寄港する船舶をモチーフにしたデザインとし、鉄道と港のまち敦賀が新たな未来航路へ出航する様子をイメージしています。
- ・舷窓をモチーフとした円形窓と、船舶の煙突をイメージしたトップライトを設けることで、敦賀らしさの象徴である「港」を感じられるデザインとしています。
- ・ホーム階の外壁は明るく軽快感のある白色系を基調とし、コンコース階は濃色系の外壁面をセットバックすることで、上下を分節し、建物の威圧感を抑え、浮遊感を演出しています。

(案のA、B、Cについては、順位を示すものではありません。)

駅舎デザインコンセプト

「空に浮かぶ ～自然に囲まれ、港を望む駅～」

## 敦賀駅デザイン案 【B案】

「爽やかな海風を受け帆走する駅」



※デザインはイメージです

- ・敦賀港に寄港していた北前船の帆が、爽やかな海風を受けてはらむ様子を表現したデザインとし、港街敦賀の歴史と豊かな自然を感じられる駅をイメージしています。
- ・中央の屋根には、敦賀湾の穏やかな波をイメージした大屋根を設け、壁面にリズムカルに配置した帆とともに、軽快感、躍動感を感じられるデザインとしています。
- ・ホーム階の外壁は明るく軽快感のある白色系を基調とし、コンコース階は濃色系の外壁面をセットバックすることで、上下を分節し、建物の威圧感を抑え、浮遊感を演出しています。

(案のA、B、Cについては、順位を示すものではありません。)

## 駅舎デザインコンセプト

「空にうかぶ ～自然に囲まれ、港を望む駅～」

## 敦賀駅デザイン案 【C案】

「煌めく大海から未来へ飛翔する駅」



※デザインはイメージです

- ・壁面のガラス窓などをランダムに配置することによって敦賀湾の波の煌めきを表現したデザインとし、天然の良港である敦賀湾の豊かな自然を感じられる駅をイメージしています。
- ・中央の屋根には、市の鳥であるユリカモメが飛翔する姿や、船首のシャープさをイメージした特徴的な大屋根を設け、自然豊かな敦賀のシンボルとなるデザインとしています。
- ・ホーム階の外壁は明るく軽快感のある白色系を基調とし、コンコース階は濃色系の外壁面をセットバックすることで、上下を分節し、建物の威圧感を抑え、浮遊感を演出しています。

(案のA、B、Cについては、順位を示すものではありません。)